

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	特進一貫	社会	地理・公民		必修	3

講座のねらい

1 学期には、1 学年で学習した世界の地理に関する知識に加え、日本の地理を学習します。世界および日本の地形・気候・自然・産業などを、地理的な見方・考え方を養いながら、世界と日本の諸地域を学びます。さらに、日本と世界の関わりに注目し、世界の諸地域の特徴を捉えていきます。

2・3 学期には、公民的分野を学習します。人権や民主主義の成立過程を学び、それらに基づく日本の法・政治・経済について学習していきます。さらに、日本のみならず、諸外国との関係や地球規模の課題も考えていきます。

使用教材及び問題集

《地理的分野》教科書：「中学社会 地理 地域に学ぶ」 教育出版
 資料集：「アクティブ地理 総合 世界・日本」 浜島書店
 問題集：「ウイニング地理Ⅰ・Ⅱ」 好学出版
 地図帳：「中学校社会科地図」 帝国書院
 《公民的分野》教科書：「中学社会 公民 ともに生きる」 教育出版
 資料集：「新しい公民」 浜島書店
 問題集：「ウイニング社会3」 好学出版

授業の内容と進め方

地理的分野では、教科書と資料集を利用して地理的な視点を養っていきます。さらに、地図帳を使って自ら主体的に地図を読み取り、調べる作業を行います。各単元終了後、問題集にて知識の定着をはかります。

公民的分野では、教科書をしっかり読むことで、基礎的な概念、用語を習得した上で現代に起こっている社会的事象を学びます。教科書の流れに沿って、資料集の図や写真を利用し、より深く内容を理解します。各単元終了後、問題集で知識の定着をはかります。

講座の到達目標

地理的分野では、まず、日本の地域構造や特色を理解します。さらに、広い視野に立って地球や世界の諸地域の特色を理解し、地理的認識を養います。様々な地域を比較・関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の共通性と多様性を理解します。

公民的分野では、人権に対する正しい認識を身につけ、民主主義の意義、法、経済活動に関する学習を通じて、個人と社会との関わりに対する理解を深めます。また、国際社会の諸問題を扱い、現代の社会的事象に関心を高めるとともに、現在や未来の社会に対して多角的、また公正に判断する能力を養います。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査、課題考査、小テスト、宿題やノートなどの提出物、授業や学習に取り組む態度など、総合的に評価します。授業では、単元ごとに問題集等、授業内容の復習ができる課題を宿題とします。長期休暇においても復習中心の課題を出し、各学期ごとに課題考査を実施します。

備考

生徒の学習状況、理解の度合いなどを考慮し、講習などを行う場合があります。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容
《地理的分野》 第3章 世界の諸地域 2 アジアの多様性と経済発展 3 統合を強めるヨーロッパの国々 4 世界に大きな影響力をもつ北アメリカ 5 南アメリカの開発と環境 6 他地域と結びつくオセアニア 第4章 世界のさまざまな地域の調査 第2編 日本さまざまな地域 第1章 日本の地域構成 第2章 世界からみた日本のすがた 第3章 日本の諸地域 1 九州地方 2 中国・四国地方 3 近畿地方 4 中部地方
2 学期 学習計画および学習内容
5 関東地方 6 東北地方 7 北海道地方 第4章 身近な地域の調査 《公民的分野》 第1章 わたしたちの暮らしと現代社会 1 わたしたちが生きる現代社会 2 現代につながる伝統と文化 3 わたしたちがつくる社会 第2章 人間を尊重する日本国憲法 1 民主政治を支える憲法 2 憲法が保障する基本的人権 3 わたしたちの平和主義 第3章 わたしたちの暮らしと民主政治 1 民主主義と日本の政治
3 学期 学習計画および学習内容
2 司法権の独立と裁判 3 地方自治と住民の参加 第4章 わたしたちの暮らしと経済 1 消費生活と市場経済 2 生産のしくみと企業・金融 3 財政と政府の役割 第5章 安心して暮らせる社会 1 労働と社会保障 2 これからの日本経済の課題 第6章 国際社会に生きるわたしたち 1 国際社会が抱える課題 2 国際社会を支えるしくみ 3 持続可能な社会の実現に向けて